

「起業は女性自立の選択肢」

萩原扶未子さん 県内調査の結果報告



女性による起業促進のため公的支援の重要性を訴える萩原さん

情報技術（IT）関連の県内の女性の起業プロセス
ジーアンドエス（金沢市）に関する調査を行い、19日
社長の萩原扶未子さんが、金沢市内で開かれた北陸

経済連合会の「北陸STC
サロン」で調査結果を発表
した。

民間信用調査機関調べ
（2005年12月）で県内
の社長の女性比率は4・6
%（全国44位）にとどまっ
ている。調査は、女性起業
の特徴や課題を探るため、
県産業創出支援機構と金沢
市の委託を受け、県内の起
業支援セミナー受講者58人
を対象に、アンケートとい
うインタビューを行った。

その結果、起業の動機は、「気がついたら」とした答
えが最も多かったものの、「年齢に関係なく働きたい」
「時間的な制約が少ない」
を理由に挙げた例も多かつ
た。起業形態では、「自分
ひとり」で「自宅」が多
く、起業資金でも「ほとん
ど必要ない」とした人が多
かった。萩原さんは、「女
性の自立、育児・家事・介
護との両立の選択肢に起業
が入ってきたようだ」とみ
ている。

一方、公的機関の「起業
セミナー」や起業相談窓口
に関しては、「こんなこと
も知らないのかとバカにさ
れる不安がある」など参

加をためらう声も多かつ
た。
萩原さんは、「男女の差
別なくという発想で実施し
ているものが、かえって女
性の参加を妨げている。起
業経験を持つ女性経営者が
相談に応じるような制度の
充実が強く望まれる」と話
していた。